

平成20年度研究成果実用化促進事業 採択課題一覧（一次公募）

平成20年6月10日

農林水産技術会議事務局

番号	課題名	地域農業研究・普及協議会（事業実施主体）			課題の概要	
		名称	研究実施機関	実用化支援機関	基礎成果名称	開発研究の内容
1	ジャガイモシストセンチュウの簡易土壌検診技術の確立	シストセンチュウ検診技術 地域農業研究・普及協議会	北海道立中央農業試験場◎ 北海道立北見農業試験場 キリンアグリバイオ（株）植物開発研究所	（独）農研機構北海道農業研究センター （独）種苗管理センター 北海道中央農場 後志農業改良普及センター 網走農業改良普及センター JA北海道中央会、JAきたみらい JAとことろ、JA道央、JAようてい	プラスチックカップを用いたジャガイモシストセンチュウの簡易検出・密度推定法	本成果は試験研究機関が開発した基本技術であり、実施者の検診目的や設備状況等に対応した個々の細部技術は確立していない。そこで、主要産地の普及組織等と共に実証試験を経て、実用的な検診技術を確立する。
2	加工・業務用ホウレンソウの低コスト生産体系の確立	SPS関東地域農業研究・普及協議会	埼玉県農林総合研究センター	（社）日本施設園芸協会◎ 埼玉県本庄農林振興センター 株式会社ニシザワ （独）農研機構野菜茶業研究所	加工用ホウレンソウ収穫機（加工用軟弱野菜一斉収穫機）	機械収穫を前提とした加工用ホウレンソウの栽培・作業体系が確立されていない。そこで、大型規格ホウレンソウの栽培技術、収穫機が有効に稼働できる栽培様式、加工工場への搬送を含めた作業体系等を開発する。
3	トウガラシ用台木品種によるパブリカの土壌病害回避技術の確立	山形県庄内地域農業研究・普及協議会	山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室◎	山形県庄内総合支庁産業経済部酒田農業技術普及課 庄内みどり農業協同組合（JA庄内みどり） 酒田市袖浦農業協同組合（JAそでうら）	万願寺トウガラシの疫病・青枯病複合抵抗性台木「トウガラシ安濃4号」の選定	栽培期間が長く完熟果での収穫となるパブリカでの病害抵抗性や生産性、果実品質が不明である。これらの評価、分析を現地との連携の下で進め、接ぎ木植物体に最適化した栽培管理技術の開発に取り組む。
4	東海地域の露地キャベツ作における「うね内部分施用技術」の確立	東海地域「うね内部分施用技術」普及協議会	愛知県農業総合試験場 東三河農業研究所 愛知県経済農業協同組合連合会	東三河農林水産事務所 農業改良普及課 豊橋農業協同組合 愛知みなみ農業協同組合 （株）サイエンス・クリエイト◎ （独）農研機構中央農業総合研究センター	肥料・農薬施用量を削減できる畝内条攪拌施用技術 キャベツ作において肥料施用量を約30%削減できる畝立て同時帯攪拌施用機	うね内部分施用技術は寒冷地域で実証済みであるが、温暖地域の異なる作型における最適施用量などの検証と修正が必要である。そこで、温暖地域の主要産地での実証を通じ、普遍的技術にブラッシュアップする。
5	雪冷熱利用によるイチゴの夏期高温対策と安定生産	置賜地域農業研究・普及協議会	山形県置賜総合支庁産業経済部産地研究室◎	農業技術普及課 西置賜農業技術普及課 飯豊町農業技術者会 飯豊町雪室施設管理組合	イチゴ10月どり栽培における自然換気型細霧冷房と遮光資材による昇温抑制	細霧冷房は施設経費が高いため普及が少ないと想定される。そこで、基礎研究によるハウス内温度の降下方法を、遮光と雪冷熱を活用した安価な方法を組み合わせて行い、効率的な花芽分化誘導技術を開発する。

注：◎は事務局担当機関